

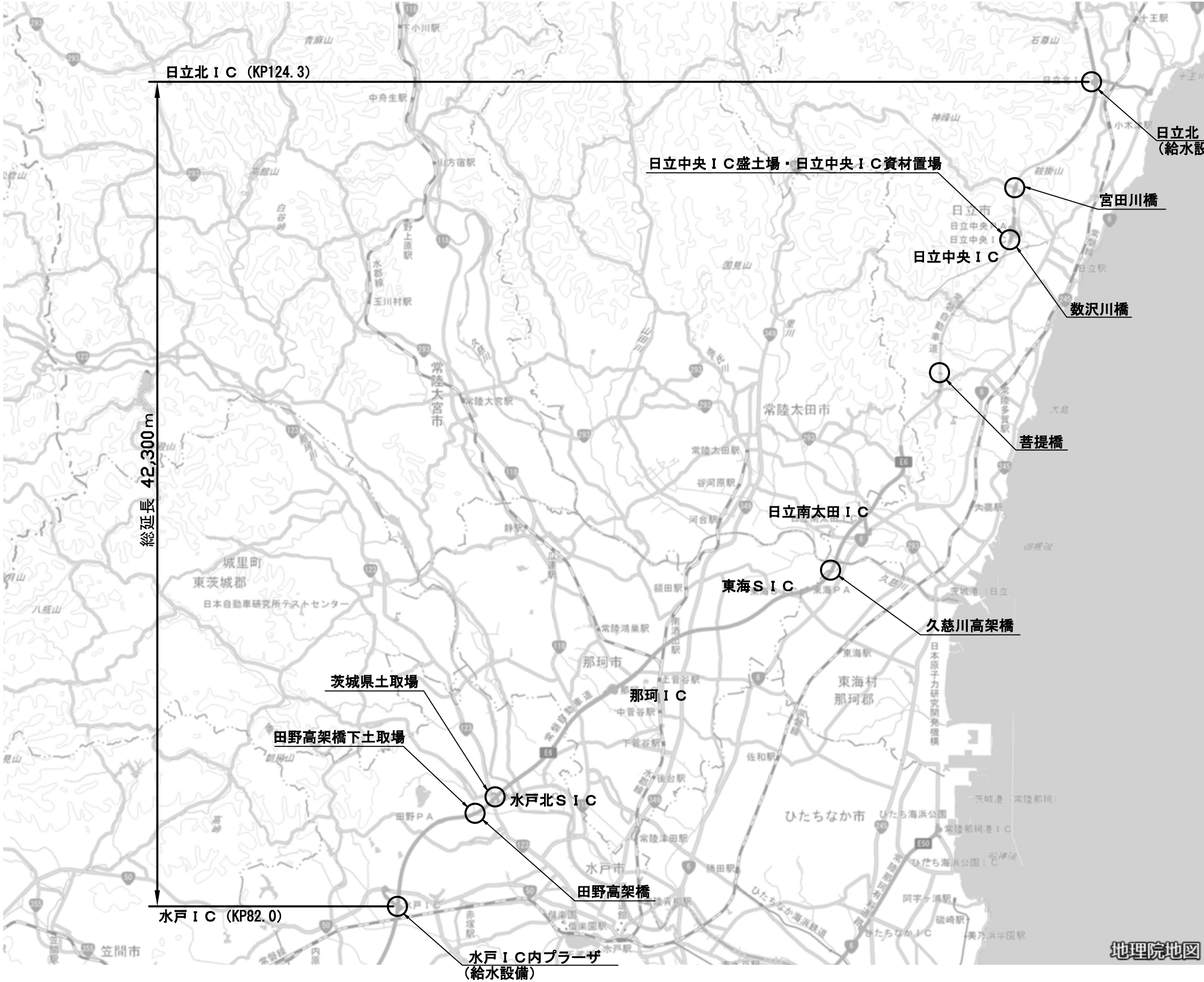
令和 7 年度
常磐自動車道
田野高架橋耐震補強工事

設 計 図

令和 7 年 1 2 月

東日本高速道路株式会社
関東支社 水戸管理事務所

【 図 面 目 録 】 田野高架橋耐震補強工事 設計図面



注記) この地図は国土地理院のウェブサイト (https://maps.gsi.go.jp/#12/36.479552/140.509644/&base=pale&base_grayscale=1&ls=pale&disp=1&vs=c1g0j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0) の地図をもとに
東日本高速道路(株)関東支社水戸管理事務所が作成したものです。

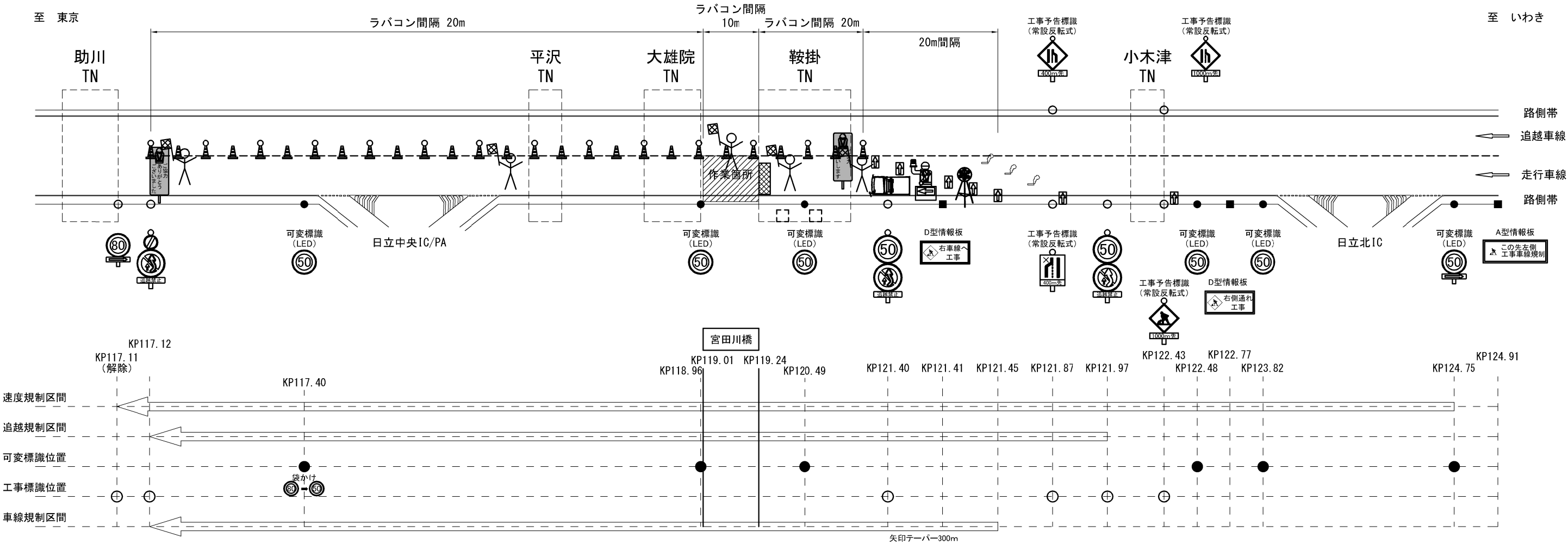
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋耐震補強工事 全体位置図		
縮 尺	—	図面番号	1/17
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

田 野 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事 数 量 総 括 表 (その 5)

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋耐震補強工事 数量総括表（その5）		
縮 尺	—	図面番号	6 / 17
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋 (上り線)

走行車線ブロック規制図 第9・10ブロック (鞍掛トンネル～平沢トンネル区間)



凡例

交通監視員	矢印板	回転警告灯	保安ロボット	ラパコン (反射シート) 自発光デリ	ラパコン (反射シート)
標識車	規制規制 ※自発光デリ	規制標識 (警戒標識) ※自発光デリ	工事用看板 (標示板)	発煙筒	標識等安全施設 (進入車両 強制停止装置)

数量表

名 称	数 量	単 位	備 考
規制標識・警戒標識	8	枚	貸与品
ラパコン	必要数	本	貸与品
矢印板	必要数	枚	貸与品
保安ロボット	1	台	貸与品
標識等安全施設 (標示板)	2	枚	受注者持
標識等安全施設 (保安灯)	必要数	本	受注者持
標識等安全施設 (回転警告灯)	1	台	受注者持
標識等安全施設 (進入車両強制停止装置)	1	台	受注者持
標識車	1	台	受注者持
発煙筒 (設置・撤去)	6	本	受注者持
交通監視員 (テーパ一部)	1	人	
交通監視員 (工事車両出入口)	1	人	
交通監視員 (施工箇所)	1	人	
交通監視員 (規制内巡回等)	2	人	

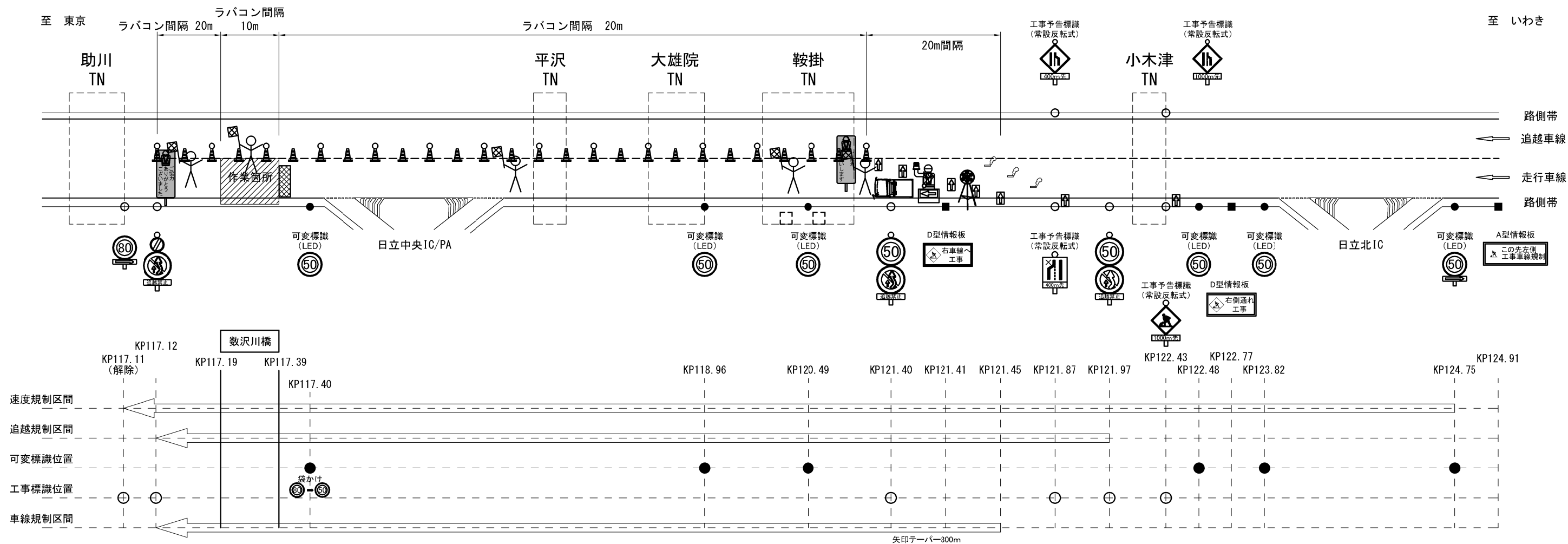
1回当たり

注記) 1. 工事箇所が500mを超える時は、を500m毎路肩側に設置する。
2. 矢印板が設置可能な場合は、車線減少標識箇所に矢印板を設置する。
3. テーパー部及び平行部共にラパコンは20m間隔で設置する。
4. 発煙筒 (5分用) はテーパ一部設置時及びテーパ一部撤去時に使用する。 (各々3本)
5. 夜間及びトンネル内規制
工事標識: 自発光デリを設置する。
テーパ一部: 矢印板は高輝度反射タイプを使用する。矢印板の間に自発光デリ付のラパコンを設置する。
平行部: ラパコンは反射シート付を設置する。100m間隔で自発光デリをラパコンに設置する。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	交通規制図 車線規制 A (その2)		
縮 尺	—	図面番号	8 / 17
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

数沢川橋 (上り線)

走行車線ブロック規制図 第9・10ブロック (鞍掛トンネル～平沢トンネル区間)



凡例

交通監視員	矢印板	回転警告灯	保安ロボット	ラパコン (反射シート) 自発光デリ	ラパコン (反射シート)
標識車	規制規制 ※自発光デリ	規制標識 (警戒標識) ※自発光デリ	工事用看板 (標示板)	発煙筒	標識等安全施設 (進入車両強制停止装置)

数量表

1回当たり

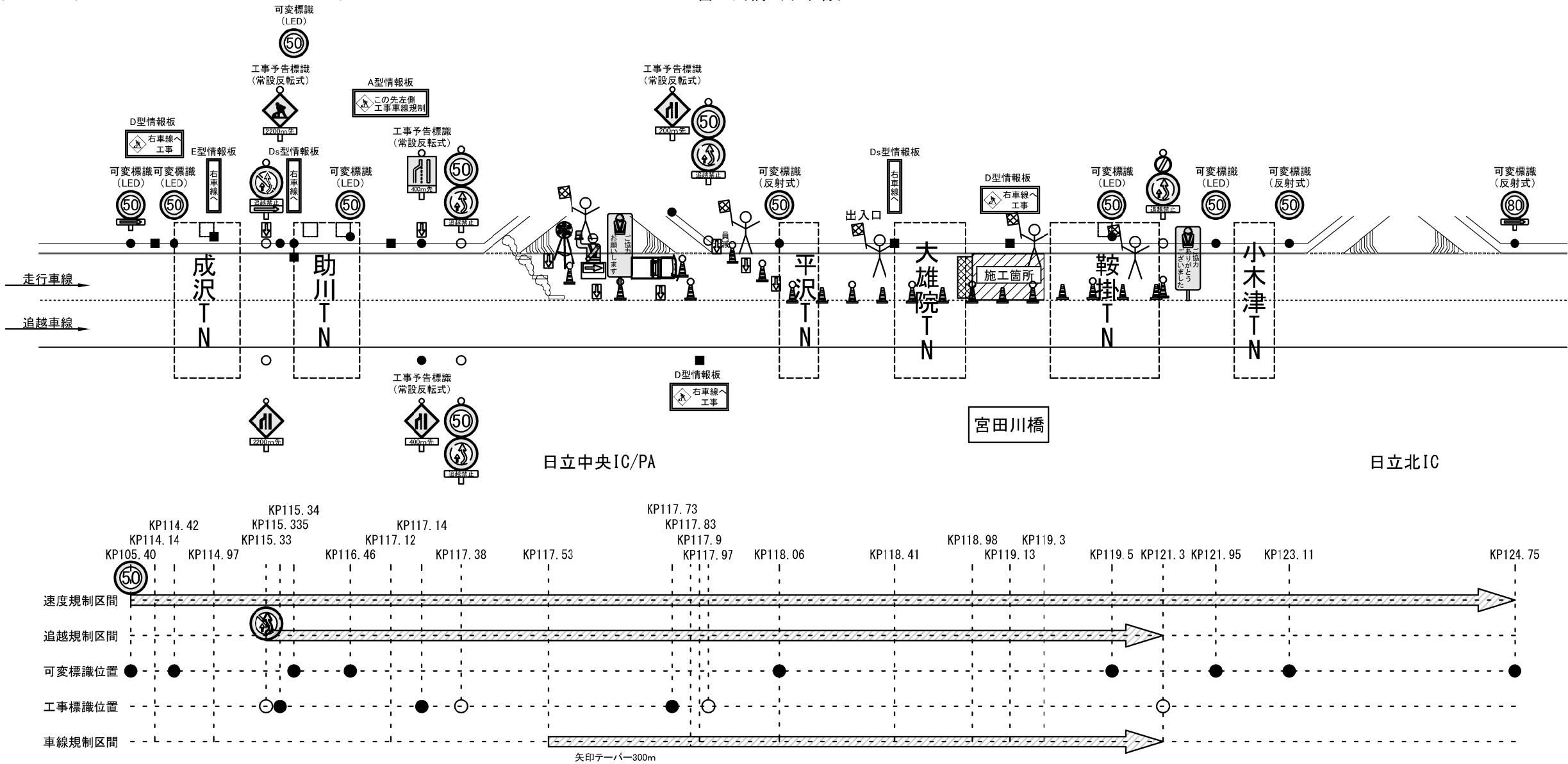
名 称	数 量	単 位	備 考
規制標識・警戒標識	8	枚	貸与品
ラパコン	必要数	本	貸与品
矢印板	必要数	枚	貸与品
保安ロボット	1	台	貸与品
標識等安全施設 (標示板)	2	枚	受注者持
標識等安全施設 (保安灯)	必要数	本	受注者持
標識等安全施設 (回転警告灯)	1	台	受注者持
標識等安全施設 (進入車両強制停止装置)	1	台	受注者持
標識車	1	台	受注者持
発煙筒 (設置・撤去)	6	本	受注者持
交通監視員 (テーパ一部)	1	人	
交通監視員 (工事車両出入口)	1	人	
交通監視員 (施工箇所)	1	人	
交通監視員 (規制内巡回等)	2	人	

注記) 1. 工事箇所が500mを超える時は、を500m毎路肩側に設置する。
2. 矢印板が設置可能な場合は、車線減少標識箇所に矢印板を設置する。
3. テーパー部及び平行部共にラパコンは20m間隔で設置する。
4. 発煙筒 (5分用) はテーパ一部設置時及びテーパ一部撤去時に使用する。 (各々3本)
5. 夜間及びトンネル内規制
工事標識: 自発光デリを設置する。
テーパ一部: 矢印板は高輝度反射タイプを使用する。矢印板の間に自発光デリ付のラパコンを設置する。
平行部: ラパコンは反射シート付を設置する。100m間隔で自発光デリをラパコンに設置する。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	交通規制図 車線規制 A (その3)		
縮 尺	—	図面番号	9/17
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

走行車線ブロック規制図 第3ブロック（平沢トンネル～大雄院トンネル区間）

宮田川橋（下り線）



	KP105.40	KP114.14	KP114.42	KP115.33	KP115.34	KP115.335	KP116.46	KP117.12	KP117.14	KP117.38	KP117.53	KP117.73	KP117.83	KP117.9	KP117.97	KP118.06	KP118.41	KP118.98	KP119.13	KP119.3	KP119.5	KP121.3	KP121.95	KP123.11	KP124.75
速度規制区間																									
追越規制区間																									
可変標識位置	●	●		●			●							●							●	●	●		●
工事標識位置				○●								●	○									○			
車線規制区間																									

凡例

交通監視員	矢印板	回転警告灯	保安ロボット	ラバコン (反射シート) 自発光デリ	ラバコン (反射シート)
標識車	規制規制 ※自発光デリ	規制標識 (警戒標識) ※自発光デリ	工事用看板 (標示板)	発煙筒	標識等安全施設 (進入車両 強制停止装置)

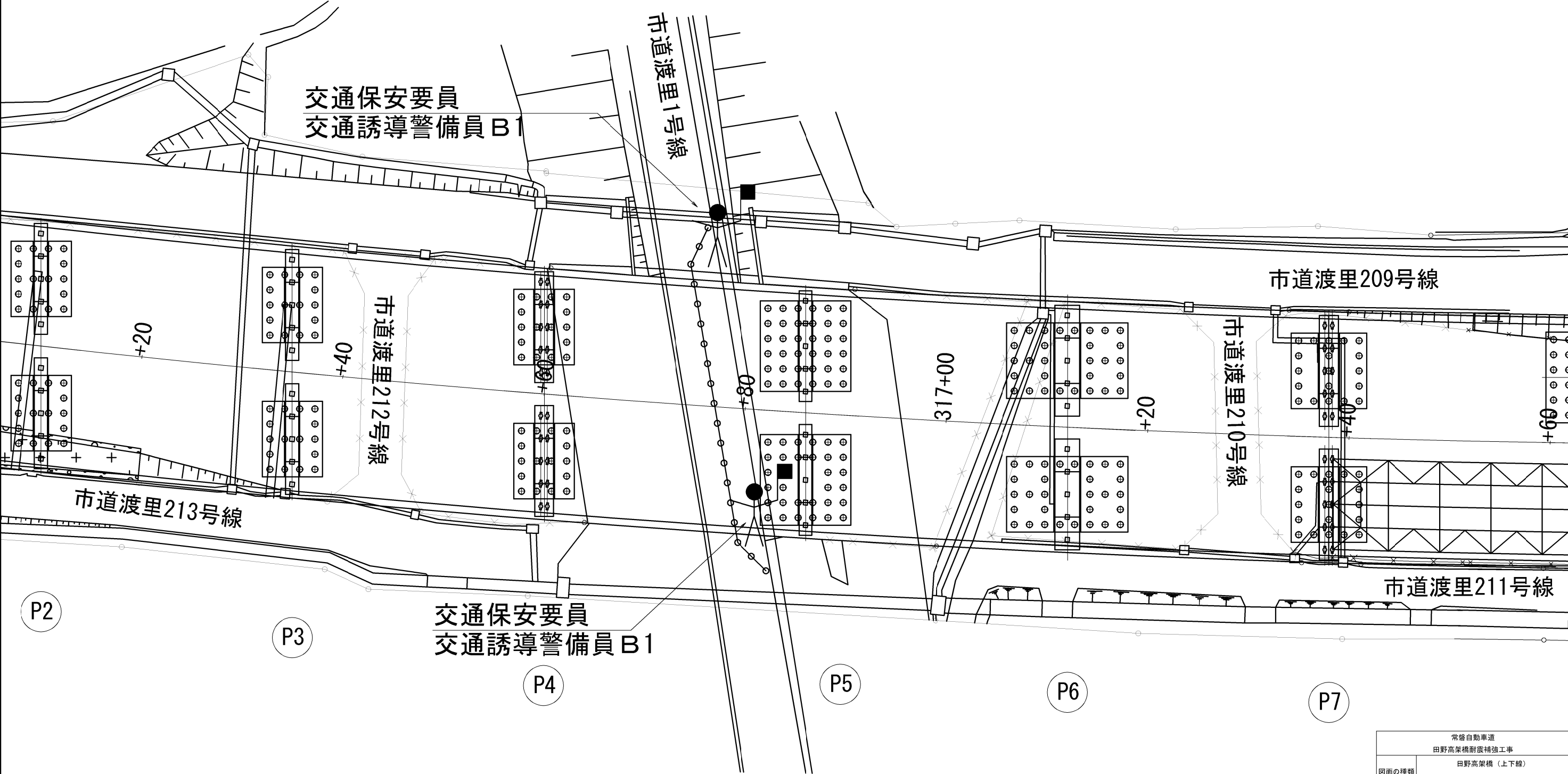
数量表

名 称	数 量	単 位	備 考
規制標識・警戒標識	8	枚	貸与品
ラバコン	必要数	本	貸与品
矢印板	必要数	枚	貸与品
保安ロボット	1	台	貸与品
標識等安全施設（標示板）	2	枚	受注者持
標識等安全施設（保安灯）	必要数	本	受注者持
標識等安全施設（回転警告灯）	1	台	受注者持
標識等安全施設（進入車両強制停止装置）	1	台	受注者持
標識車	1	台	受注者持
発煙筒（設置・撤去）	6	本	受注者持
交通監視員（テーパー部）	1	人	
交通監視員（工事車両出入口）	1	人	
交通監視員（施工箇所）	1	人	
交通監視員（規制内巡回等）	2	人	

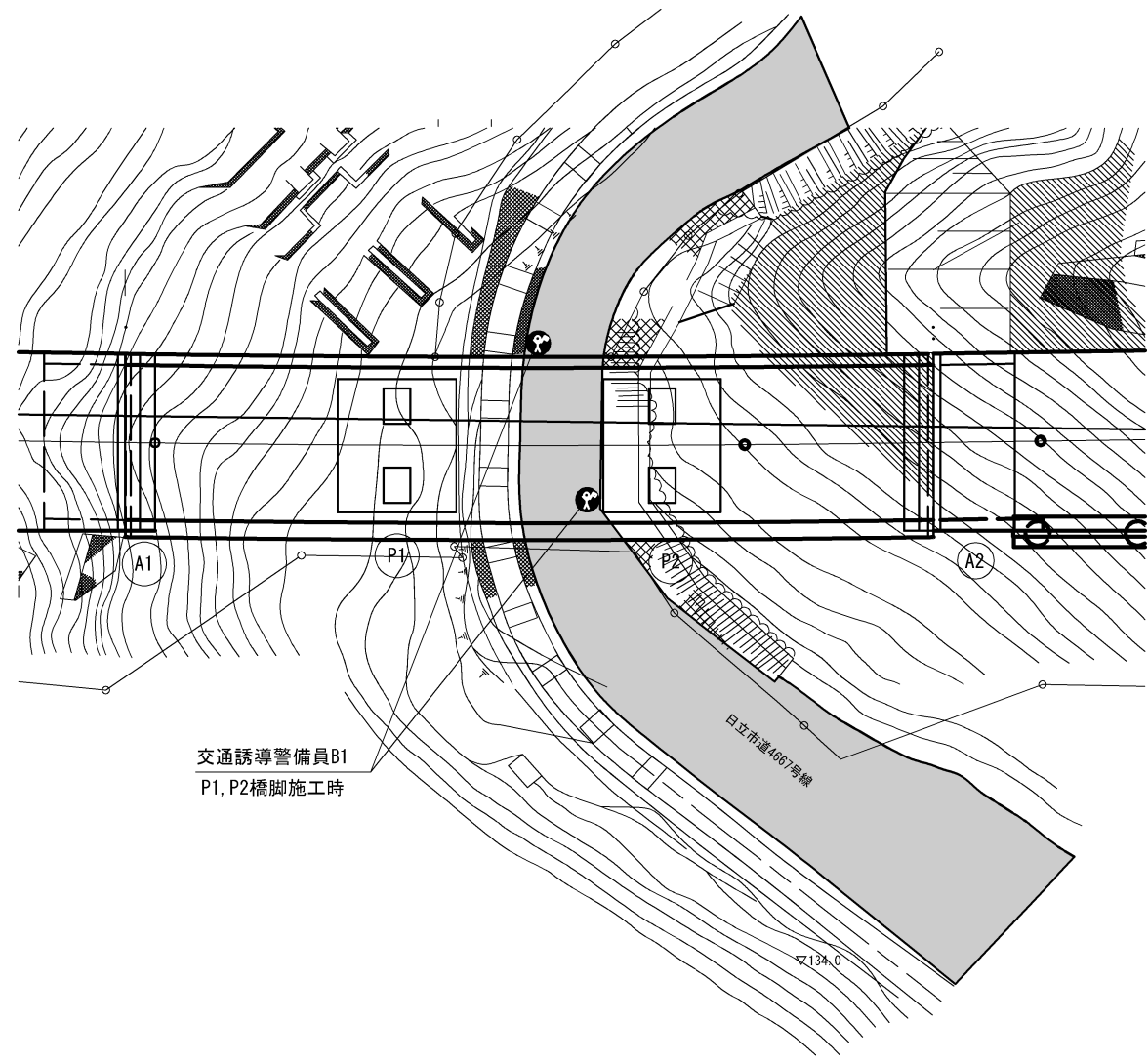
注記）1. 工事箇所が500mを超える時は、を500m毎路肩側に設置する。
2. 矢印板が設置可能な場合は、車線減少標識箇所に矢印板を設置する。
3. テーパー部及び平行部共にラバコンは20m間隔で設置する。
4. 発煙筒（5分用）はテーパー部設置時及びテーパー部撤去時に使用する。（各々3本）
5. 夜間及びトンネル内規制
工事標識：自発光デリを設置する。
テーパー部：矢印板は高輝度反射タイプを使用する。矢印板の間に自発光デリ付のラバコンを設置する。
平行部：ラバコンは反射シート付を設置する。100m間隔で自発光デリをラバコンに設置する。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事	
図面の種類	交通規制図 車線規制 A(その4)
縮 尺	— 図面番号 10/17
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所


平面図



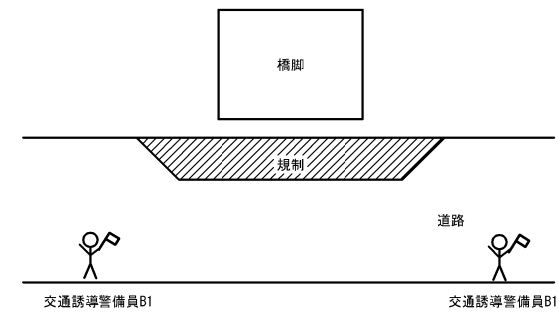
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋（上下線） 交通保安要員配置図		
	縮尺	—	図面番号 11/17
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



交通誘導警備員B1
P1、P2橋脚施工時

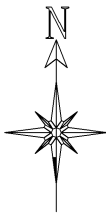
凡例  : 交通誘導警備員B1

車線規制時の配置状況



常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	菩提橋（上り線） 交通安全要員配置図		
縮 尺	図 示	図面番号	12 / 17
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋（上下線）交通安全要員配置図

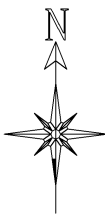


縮尺 No scale

注記) この図は国土地理院のウェブサイト (https://maps.gsi.go.jp/#13/36.700632/140.690746/&base=std&base_grayscale=1&ls=std&disp=1&vs=c0g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0&d=m1) の地図をもとに
東日本高速道路(株)関東支社水戸管理事務所が作成したもの。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	宮田川橋(上下線) 交通安全要員配置図		
縮 尺	—	図面番号	13/17
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

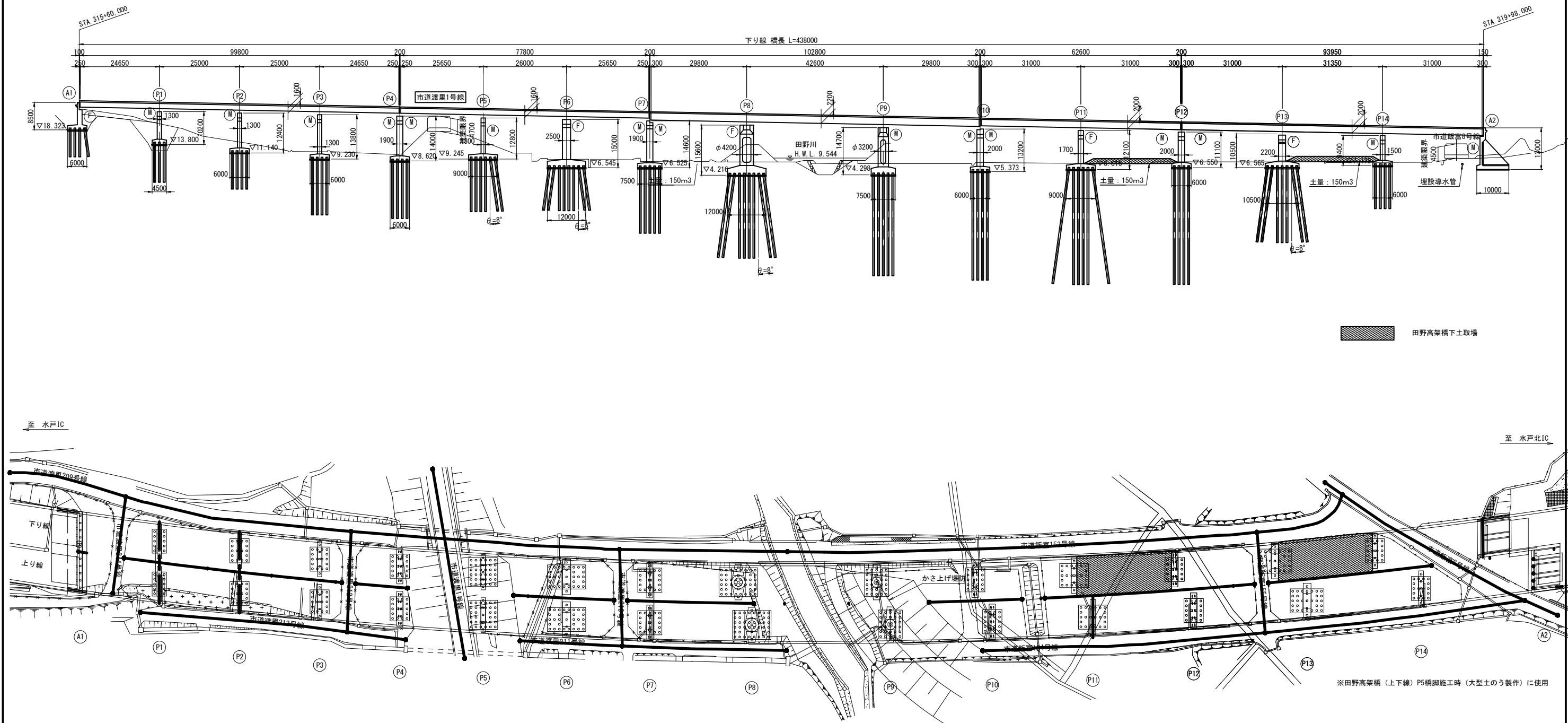
田野高架橋（上下線）土運搬経路図



注記）この図は国土地理院のウェブサイト（https://maps.gsi.go.jp/#13/36.700632/140.690746/&base=std&base_grayscale=1&ls=std&disp=1&vs=c0g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0&d=m1）の地図をもとに
東日本高速道路（株）関東支社水戸管理事務所が作成したもの。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋（上下線） 土運搬経路図		
縮尺	—	図面番号	14/17
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

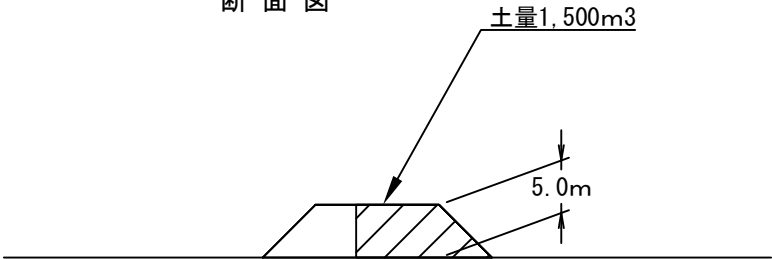
縦断図



常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋下土取場 詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	15/17
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

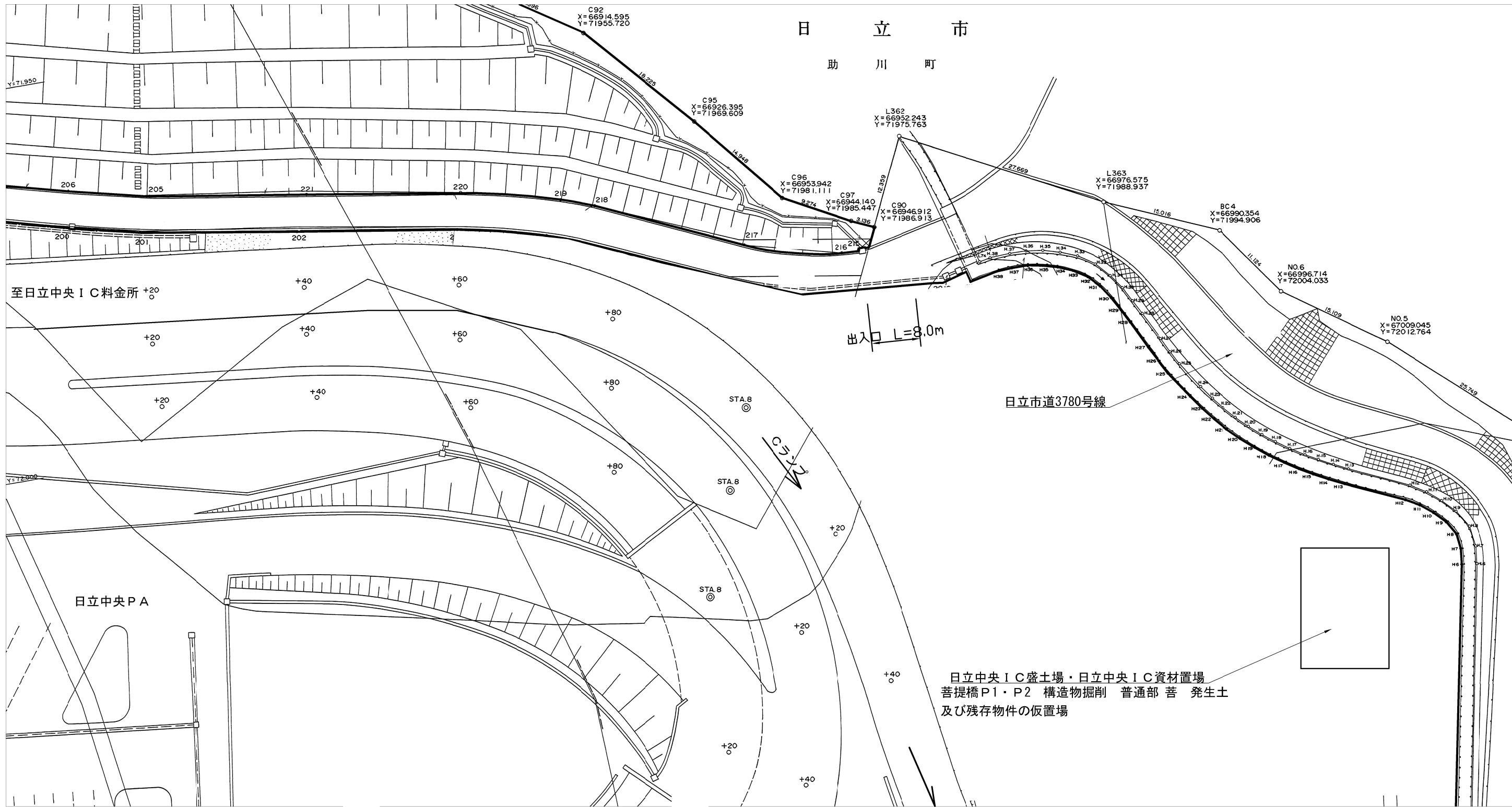


断面図



※田野高架橋（上下線）P5橋脚施工時に使用

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	水戸北S I C		
	茨城県土取場 詳細図		
縮 尺	—	図面番号	16 / 17
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	日立中央 I C 盛土場・日立中央 I C 資材置場 位置図		
縮 尺	図 示	図面番号	17/17
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		